

れたら、それはもうレクリエーションじゃなくなっちゃう。

では、どうしたら良いのか？ 答えは1つ！

バス旅行の前に、バスレクのをみんなに説明して、ルールがわかりづらい遊びは、事前に遊んでみたりして、みんながバスレクの「主催者」、「主人公」になれるように準備すること。みんながバスレクの時間を楽しみにしながらバス旅行をスタートさせることが大切なんだ。

## 先生方へ

「バスで苦手なあの子と隣の席になっちゃった。最悪……。」  
「バスレクはきらい！カラオケとか歌えないし、強制されるのがイヤ！」  
「レク係になったけど、何をしたらいいかわからない。」  
「先生からはボンとレクの本を渡されただけ。」  
「やりたくない！っていう子がいたらどうしよう……。」

移動教室などのバス旅行を前にした子どもたちから、ときどきこんな言葉が飛び出てきます。みんなを楽しませなければいけないと言う係のがんばりが、席順やレクへの参加をめぐる緊張関係を逆に高めてしまっているように見えます。

目的地によってはバス移動が数時間になることもあるでしょう。それだけ長い時間をシートにしばらくつけられ不自由な思いをしている子どもたち。バス酔いの不安がある子にとっては、なおさら辛い時間になってしまいます。

そこで、先生たちへのお願いです。行先でのプログラムや学習カリキュラムをしっかりと考え、準備するのと同じように、バスレクについても、係の子任せにしないで、バスの時間が誰にとっても不安のない楽しい時間になるように、子どもたちといっしょに考え、係の子どもたちをフォローしてもらいたいです。

日ごろから授業のアイスブレイクや休み時間に、この本で紹介したような遊びやゲームをたくさんやってみてください。「いっしょに遊んでくれる先生」は子どもたちの憧れとなって、バスレクのリーダーになる子に力を与えることでしょう。

## 決定版 バスレクセレクション

### ◎あいうえお作文・ゴロゴドン ほか

もくじ

「レクリエーション」てなんだ？▶2	風船サンドリレー▶44
あいうえお作文▶6	ナンバーとばし▶46
グーパー▶8	遊びは子どもの「権利」だよ▶48
まっちぼう▶10	室内遊び▶49
しりとりのお輪▶12	ダンゴムシオニ▶50
新聞紙たたみリレー▶14	ゾンビオニ▶52
王さまじゃんけん（バス内編）▶16	じゃんけん陣取り▶54
シェイクシェイク▶18	靴探しリレー▶56
バスレク体操その1～なかなかい～▶20	スリッパ飛ばしリレー▶58
バスレク体操その2～わたしは差障者～▶22	ゴロゴドン▶60
バスレク体操その3～えんぱん音頭～▶24	ふくわらいリレー▶62
バスレク体操その4～あんたがたどこさ～▶26	めかくし障害物リレー▶64
この色なあに▶28	風船踏み▶66
スカットイントロクイズ▶30	ボールバスオニ▶68
2文字しばりしりとり▶32	じゃんけんおんぶ▶70
風船似顔絵▶34	じゃんけんバスケット▶72
片手ハンカチ送り▶36	じゃんけんすごろく▶74
指文字リレー▶38	風船メドレーリレー▶76
牛タンリレー▶40	ジェスチャー送り▶78
仲間はずれをさがせ▶42	

# あいうえお作文

## 用意するもの

- 筆記用具
- 作文用紙 (10行 × 20文字)
- 下敷きになるバインダー



縦の列がチームになります。

1 作文用紙の各行の最初に、50音を順に書き入れておきます。

例：「あいうえおかきくけこ」

こ	け	く	き	か	お	え	う	い	あ



チーム

2 先頭の人から、行の頭の文字からはじまる一言を書き入れ、順に後ろに送っていきます。

例：

- 「あ」 あかい
- 「い」 いぬが
- 「う」 うみで
- 「え」 えきべんを
- 「お」 おいしそうに
- 「か」 かみついて
- 「き」 きがつくと
- 「く」 くちに
- 「け」 けちゃっぷが
- 「こ」 こびりついてた

こ	け	く	き	か	お	え	う	い	あ
か	ち	ち	が	み	い	き	み	ぬ	か
り	や	に	っ	っ	し	べ	べ	が	い
っ	っ		く	い	そ	ん	で		
い	30		と	て	う	を			
マ	が			に					
い									
た									
*									

3 いちばん後ろの人が書き終わったら、できあがった作文を発表し合います。



4 「オモシロ賞」、「キュンで賞」、「意味不明で賞」など、おもしろい賞をつけましょう。



\*「さ」から「と」までとか、50音のいろいろな部分を使って遊びましょう。考え過ぎないで、パッと思いついた言葉を書いてしまったほうがおもしろくなります。

と	マ	っ	ち	け	そ	せ	ろ	し	さ

# グーパー

## 用意するもの

- ありません。

1

みんながよく知っている歌に合わせておこないます。

例：もしもしかめよ

2

右手・左手をリズムに合わせて、前に突き出したり、胸に触れたりします。

3

最初は、突き出す手を、「グー」に、胸に触れる手を「パー」にしてやってみましょう。歌の終わりまでできるかな。



4

次に、突き出す手を「パー」に、胸に触れる手を「グー」に変えておこなってみましょう。



5

慣れてきたら、歌の1番と2番でグーパーを入れ替えて続けます。

## バージョンアップ

右手は「グー、チョキ、パー」と順に変えて「突く」、「胸」とくり返し、左手は右手に負けるもの「パー、グー、チョキ」の順に変えて「胸」、「突く」となるようにしてみましょう。最高に難しくなります。

